

～ソフトクリーム食べ歩き～

## ここでしか味わえない一本 #1

私は古伊万里（こいまり）さん（旭川市豊岡3条3丁目6-14）のソフトクリームが大好き。毎年夏になると通っています。

こだわりの四つ葉牛乳を使用していて、口にしたらたん、いつも私は北海道の大自然を感じてさわやかな気分になります。道外からのお客さんが来たときや誰かにお礼をしたいときには、必ずここにお連れします。どさくさに紛れて私も食べられるし（笑）。



場所は、皆さんと取り組んでいる豊岡農園のわりと近く。いつも農園の相談に乗ってくださっている「寺岡種苗」さんの並びにソフトクリームの「のぼり」が出ています。通りに面したお店は喫茶店で、その裏のパンと総菜の小さなお店にお目当ての1本があります。1本300円。味と同じでお値段もわりと優しいのは助かります。豊岡農園で一汗かいたあとの一本は格別ですよ。よければ農園活動とセットでお楽しみください。

（執筆：クレインさん 365字）

～豊岡農園の野菜でつくろう～

## トヨベジレシビ #1

<とうきびの美味しい茹で方>

- ①とうきびの先の髭をハサミで切ります。
- ②皮はむかないで、さっと洗います。
- ③濡れたままラップに全体をくるみます。
- ④電子レンジで5分で茹で上がります。



皮の風味があって、とても美味しいですよ～  
そして鍋も洗わなくてもいいし簡単でしょ(^\_^)

<トマピーの食べ方>

トマピー最高でしたね！

そのまま生でかぶりついて美味しかったけれど、乱切りにして、油でさっと炒めて、中華スープの素を少し入れたら美味しいですよ～



今年は雨が少なくて、どの農園もなりが悪かったのに、よくとうきびもトマピーもなりましたね♪来年も楽しみにしています。

（執筆：いとよしさん 266字）

# そーさぽ だより

## #01

編集：そーさぽだより編集部  
（NPO法人そーさぽ旭川）  
発行：2021年12月31日

～映画・小説・マンガ・アニメ・音楽～

## 人生を変えたこの作品 #1

私の人生に影響を与えた物語は宮沢賢治の「雨ニモマケズ」です。皆さんも学校で暗唱をしたのではないのでしょうか。私は事故で働くことが出来ず、仕事を辞めたことがあるので、その後は働ける身体がどんなに大切な事かと思うようになりました。また、相談員や支援員として働くようになってからは、自分がいかに無力かが身に沁みました。そんな時にこの詩を読むと、私も一緒にオロオロすることも「あり」だとかんがえるようになりました。「雨ニモマケズ」の生き方が私のお手本です。

（執筆：ベストさん 223字）



雨ニモマケズ  
ミキハウスの宮沢賢治絵本  
2016年10月  
作・宮沢賢治  
絵・柚木沙弥郎

～そーさぽだより編集部のひとりごと～

## 編集後記

8月31日にパイロット版を発行してから、早くも4か月が経ってしまいました。ようやく第1号をお届けできました。これからも、気分しだい、風しだい…ではなく、原稿が集まりしだい！という方針で、ゆるゆると発行したいと思います。

第1号をご覧いただき、各コラムのイメージはつきましたでしょうか。コラム執筆者ペンネームの次に、文字数を書いておきました。ぜひ、ステップアップ支援プログラム参加者のみなさんにも、執筆して寄稿していただきたいと思います。

mail：[ssn.asahikawa@gmail.com](mailto:ssn.asahikawa@gmail.com)

HP：<https://ssn-asahikawa.jimdofree.com>

→ホームページにパイロット版掲載しています。



NPO法人  
そーさぽ旭川

会員募集中だニヤ



～NPO法人そーさぽ旭川より～

## 法人活動の報告・ご案内 #1

長崎×旭川 zoom でコラボ勉強会

「生きた知識を互いに教え、学びあい、共に育つ場」

～長崎多職種連携・たまごの会の取組みを学ぶ～

- \*開催日時：2021年9月10日（金）午後7時から9時まで
- \*開催方法：zoom
- \*参加者数：学生45人 社会人26人 合計71人
- \*開催結果：医療・福祉・司法分野から71人もの参加がありました。たまごの会のプレゼンテーションのあと、多職種連携をテーマに、現場の支援者1人と学生3～4人によるグループワークを行いました。ワークの成果共有では、各グループの学生から多くの意見が出され、準備したホワイトボードが埋まるほどでした。

アンケートでは「多職種連携について学びたい」という学生が9割以上、「学生が自ら学ぶ機会をつくる活動に参加したい」という学生が7割近くいました。「旭川版のたまごの会が欲しい」「福祉と司法の連携を要する事例についてもっと学びたい」等の声もありました。今後の事業展開に反映したいと考えています。

（執筆：そーさぽ旭川 341字）

～写真で調べるコノハナナニで～

# まちかど花さがし #2

撮影日：2021年10月22日

撮影場所：隣の庭先

ゼラニウムの花言葉を検索したら「尊敬・信頼・真の友情」と有った。最近独りでうろろする私だが、ある本の一節を思いだした。『今、神経をすり減らして人間関係に疲弊しているのであれば、世の中の「友達を大事に」という圧力を一旦、脇に置く』という言葉である。『自分の人生の豊かさには、何が必要なのか。自分が至福を感じる瞬間はどのような時か。その為に必要なのはどのような人か』と、自分に問いかけるのも大切なことらしい。(執筆：ねえさん 221字)



似ている花候補



～ウチの子自慢～

# ソラチ日記 #1



みなさま、はじめまして。ぼくは、ねこのソラチです。ノルウェージャンフォレストキャット、っていうねこです。

ぼくは、まっしろでふわふわの、すてきなエリマキの毛をもっていますので、さむいのは、へっちゃらにやのですが、それでもあったかいところがすきななので、ヒーターのうえで、ながくなるのが、さいきんのおきにいりです。ときどき、さむがりのにんげんさんにも、ぼくのふかふかをわけてあげる、じえんとる、なぼくにやのです。これからよろしくにゃん。

(執筆：みーちゃん 215字)

## 初回スペシャル 潜入！総力取材

～編み物チームプレゼンツ～

# ハンドメイド作品ご紹介 #1



2021年12月某日、ステップアップ支援プログラム（就労準備支援事業）のひとつ「手しごとプログラム」の現場に潜入し、編み物チームのみなさんに取材させていただきました。

### 作品名「あめちゃんきんちゃく」M.Sさん作

小学校から編み物を始めたM.Sさん。ニット歴40年以上のツワモノです。手乗りサイズのきんちゃくは、毛糸玉1つで編めます。M.Sさんの手にかかるると2時間くらいで完成です。こま編み、中長編み、玉編みでできています。お子さんが昔楽しんでたビーズ細工の材料が余っていたので、きんちゃくのひもの端に付けて、かわいらしく仕上げってみました。



### 作品名「きらきらきんちゃく」Aさん作

Aさんはニット歴60年！の大ベテラン。毛糸だけでなく、レース編み、パイナップル編みも得意です。でも目の調子が良くないそうで「休み休み編んでます」とのこと。

きらきらしたかわいい糸で、カラフルなきんちゃくをつくりました。



### 作品名「ワッチ帽」M.Nさん作

手しごとプログラムで編み物を始めたNさんはニット歴1年4か月の初心者です。仲間に教えてもらいながらくさり編みから学び始めました。「はじめは目がバラバラだったが、今は目をそろえて編むことができるようになった」と話します。今はくさり編み、こま編み、長編み、中長編み、長々編みを会得しました。

編み物の本を見ながら、所要時間4時間ほどで、毛糸玉ひとつでできる帽子をつくりました。取っ手をつけるとニットのバッグになります。「次は棒針に挑戦したい」と話すNさんです。



### 作品名「花柄ボーダーバッグ」ニーナさん作

棒針のニット歴30年のニーナさん。子どもの頃は、マフラーばかり編んでいたそうです。去年からかぎ針を始めました。YouTubeを見ながらカスケットに挑戦したら、上手にできたことをきっかけに、かぎ針にはまりました。キーホルダー、がま口、ティッシュケース、ポーチなどを作っています。

毛糸玉3~4個を使って、こま編みと長編みを組み合わせた、お花の模様に見える編み方でバッグを作りました。完成まで5~6時間かかりました。



### <取材を終えて>

ステップアップ支援プログラムに参加している人は、いろいろな事情を抱えながら、それぞれの目標を目指して活動しています。

たまたま編み物が得意な人がいたことで、編み物チームの活動が始まり、参加者が参加者に教える「学びの循環」ができました。ベテランさんは「教える喜びがある」、初心者さんは「学ぶ喜びがある」と話します。「使ってくれる人が喜んでくれる作品を作りたい」と、使い勝手やデザインに気を遣っているそうです。「編み物」が、「誰かとつながる」ための方法のひとつになっているんだなあ、と思いました。

来年は、「ちびっこ編み物教室」の開催を目指そう、という話も出ています。「誰かとつながる」から「地域とつながる」という新しい目標を立てた、編み物チームのみなさんでした。突然の取材にご協力いただき、ありがとうございました。(取材：そーさぼだより編集部)